

障害は予防出来ないが 二次障害は予防できる

《障害のある子と家族をもっと 元気にする！》

- 日本エンパワーメントコーチング協会 代表
- 兵庫県指定事業 放課後等デイサービス
ユニバーサルスクール(武庫が丘・三田本町) 代表
- 兵庫県指定事業 福祉事業型「専攻科」
ユニバーサルカレッジ 代表
- カウンセリング・コーチング講師
- ペアレントトレーニング講師
- アドラー心理学講師 ■虐待防止CAPファシリテーター



＜主な著書＞プレジデント社
5つの法則」

PHP出版
三学出版

「子どもがぐんぐん “やる気” になる会話のコーチング

「子どもの“やる気”を奪うお母さんの話し方」
二次障害の予防についての著書を出版予定

野村 ひろ子

二次障害になっていない事が大事

- 子どもの発達障害を認識し受け止める事が重要です。発達障害を認識していないと発達障害の子どもの特性を理解する事ができず、結果として子どもを苦しめる事になります。
- 子どもの発達障害と診断されたら**親は必ず受け入れる事が大切です**。子どもの発達障害を受け入れるのはなかなか難しいと思いますが、受け入れないと適切な支援や言葉がけも出来ず二次障害につながる危険性が高まるのです。発達障害は防げないけど、二次障害は防ぐことが出来るのです。



二次障害になってしまうと高校、大学の選択肢が狭まる可能性があります。

- 診断を受けた際、保護者の脳裏には自分の子どもは一生自立出来ないのでは、など色々思ってしまう人も多いかと思います。
- しかし現代において発達障害児を受け入れる高校、大学の選択肢が広がってきています。これらの学校は学力重視ではありません。ただし二次障害を発症している場合は受け入れてくれる学校の選択肢が狭まる可能性があります。

目次①

- 二次障害とは
- 10代で急増する精神障害
- 不登校の現状
- ユニバーサルスクールで改善された二次障害
- 実例 合理的配慮で二次障害改善の事例
- 実例 否定的な支援から二次障害になった事例

目次②

- 合理的配慮で二次障害が改善・予防出来る
- 合理的配慮 学校での実施方法
- 障害のある子と親をもっと元気に 家庭・教育
 - ・福祉の連携「トライアングル」プロジェクト
 - の他市のハンドブック
- 相談したい行政に！学校に！どこに相談したらいいかが問題です。

二次障害とは

発達障害（一次障害）を原因として、理解されない・いじめ等から起きるストレスを原因として、後天的に発症する精神障害（二次障害）

<二次障害の症状>

体の不調

頭痛、食欲不振、不眠、チック等



精神面の不調

幻覚、妄想等様々な精神、身体症状や行動の変化等が現れる。

⇒それによって引き起こされる具体例

引きこもり 興奮しやすさ 過剰な不安や緊張
抑うつ気分、社交不安（対人恐怖）、不登校等

自己肯定感の低下
依存性
被害感など

行動面の問題

強い反抗、暴言・暴力、自傷行為等

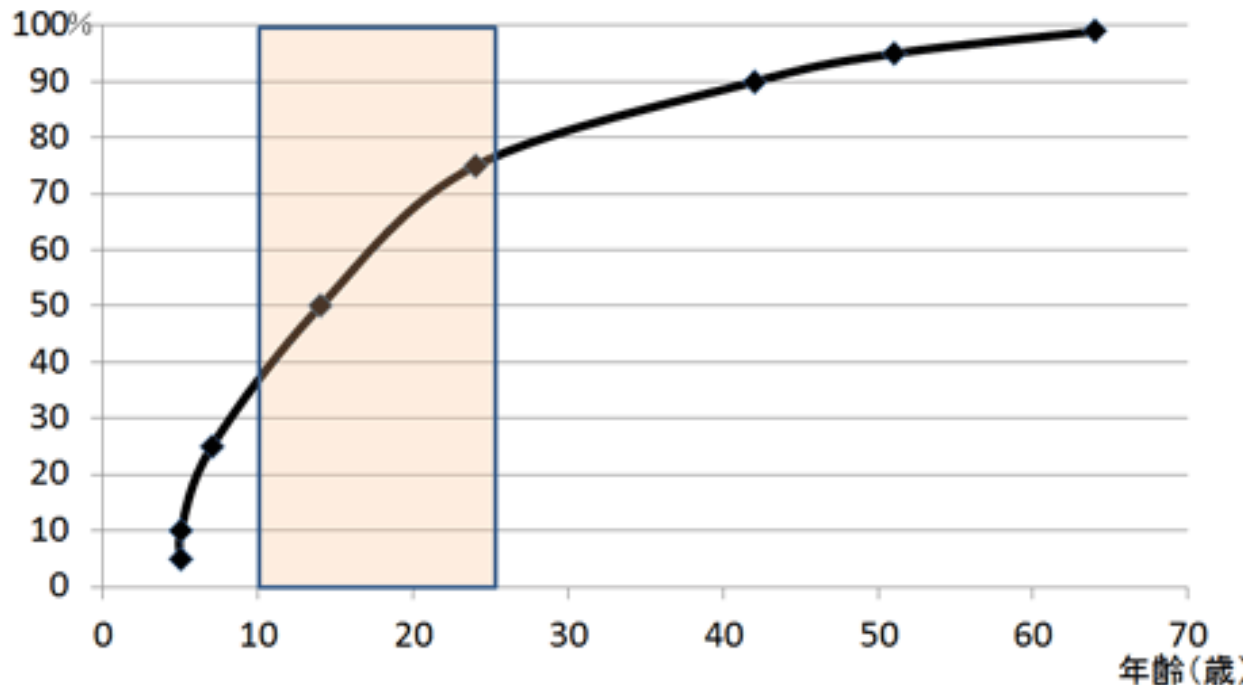
<重要>

体の不調や、精神面の不調、行動面の問題がみられたときは、二次障害が発症していることを認識し、早期発見・早期対応していくこと。次のページの精神疾患や不登校も二次障害の状態です。

10代で急増する精神障害（精神疾患）



精神疾患（認知症は除く）に罹患した大人の発症年齢
（各年齢までの累積発症率） Kesslerら、2005



①約5人に1人発症

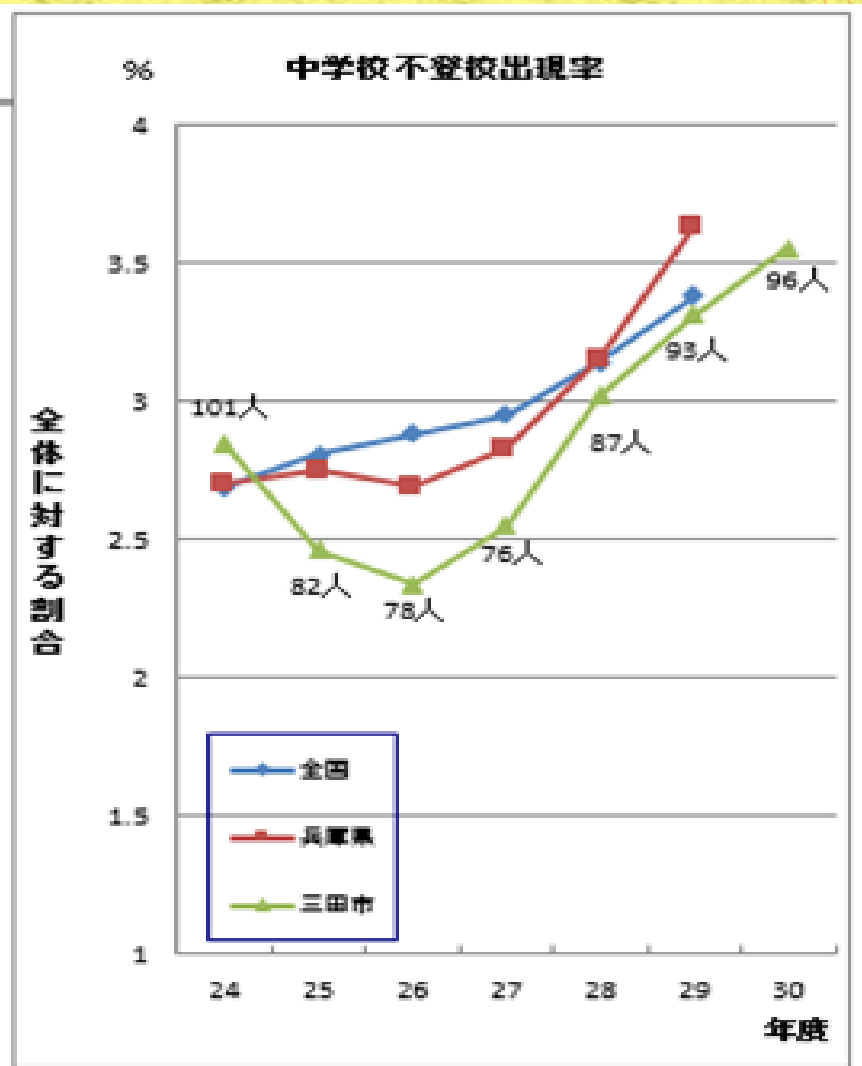
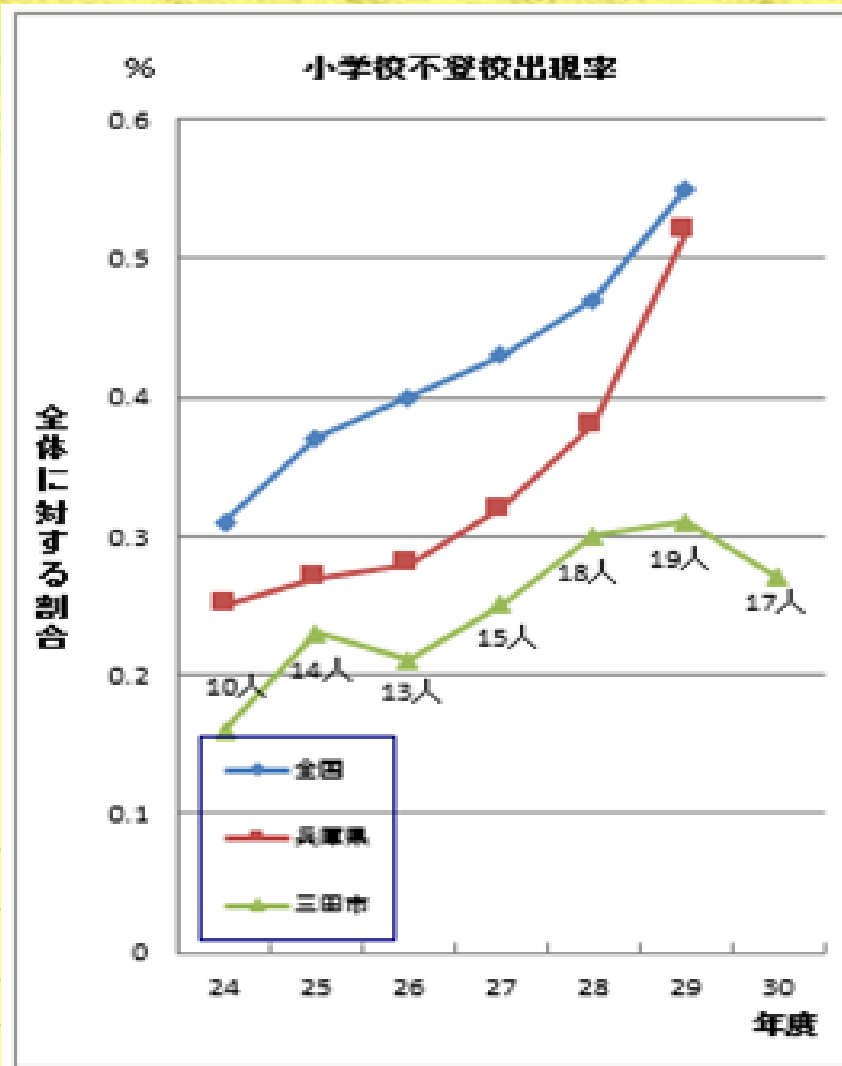
②10代から急増

③精神疾患は気づきにくく長引きやすい

④教育は問われてこなかった

後に問題が起きても
家族だけの責任

兵庫県三田市の不登校の現状



ユニバーサルスクールで 改善された二次障害



*これから順次紹介していきます。

合理的配慮で 二次障害改善の事例

1

《 1. 2 年生 》 自閉症 障害者手帳A判定

特 性

- 発語がなし
- 聴覚過敏

関心のあること

・ 歌がすき ・ 絵本がすき ・ 文字が読めていることを発見

二次障害

＜言葉が少ない特性を理解してもらえないとき＞

- ・ 他人への暴言や暴力
- ・ 自傷行為

合理的配慮

- 意思表示はサインできく。例 「どっちですか？」等
- 大好きな歌の歌詞をパネルで作る。
- 絵本を本人用（「大きなかぶ」）で作る。
- 集団療育の時は、静かな部屋で個別指導をする。

効果

- 文字を書くことが増える。
- 言葉が増えてくる。

15曲以上の歌詞



絵本「おおきなかぶ」





無くなった二次障害

~~＜言葉が少ない特性を理解してもらえないとき＞~~

- ~~・ 他人への暴言や暴力~~
- ~~・ 自傷行為~~



《 3. 4 年生 》

特 性

- 発語なし ➡ 言葉が出てきて意思表示ができるようになってきている。
- 聴覚過敏

関心のあること

- ・ 好きな歌の歌詞を書くこと
- ・ 絵を描くこと

合理的配慮

個室で本人用のノートと鉛筆を提供すると、1時間以上落ち着いて文字や絵を描いている。

効果

- 「おなかがすいた」「もっと欲しい」「あけてください」等困ったときは言葉で伝えてくれる。



否定的な支援から二次障害になった実例（ADHDの中2の男児）

<原因>

小学校5年生の時の熱心な担任

保護者

毎日連絡帳に否定的な行動を書いて知らせていた。



厳しくすることが必要なことだと思われていた。

叱る

否定的な言葉かけ

子ども

理解してもらえずイライラ
周囲の人との人間関係の悪化

二次障がいが発生

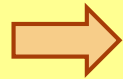


<対応策>

スクール

保護者

厳しくしたらどうになりました



どんどん悪化していきました。

か？

認める

ほめる

をされたらどうですか。

お母さんの成育歴より、ご自身が認めてもらったりほめてもらったことがなく、どう認めたりほめたりしたらいいのかわからないとのことだったので、無理なく少しずつできることからされたいと提案。

子どもの変化

母親への不満の言葉が全くなくなった。笑顔が多くなった。
友だちへもポジティブな言葉や関わり方に変わった。

<結果>



合理的配慮で 二次障害が改善・予防出来る



合理的配慮 学校での実施方法

(参考)学校における合理的配慮の例

(文科省資料一部改変)

視覚障害(弱視)のAさん

【状態】矯正視力が0.1で、明るすぎるとまぶしさを感じる。黒板に近づけば文字は読める。

- 廊下側の前方の座席
- 教室の照度調整のためにカーテンを活用
- 弱視レンズの活用

肢体不自由のBさん

【状態】両足にまひあり、車いす使用。エレベーターの設置が困難。

- 教室を1階に配置
- 車いすの目線に合わせた掲示物等の配置
- 車いすですぐ廊下を安全に移動するための段差の解消



学習障害(LD)のCさん

【状態】書くことが苦手で、特にノートテイクが難しい。

- 板書計画を印刷して配布
 - デジタルカメラ等※による板書撮影
 - ICレコーダー等※による授業中の教員の説明等の録音
- (※データの管理方法等について留意)



聴覚障害(難聴)のDさん

【状態】右耳は重度難聴。左耳は軽度難聴。

- 教室前方・右手側の座席配置(左耳の聴力を生かす)
- FM補聴器の利用
- 口形をハッキリさせた形での会話(座席をコの字型にし、他の児童の口元を見やすくする等)



病弱のEさん

【状態】病気のため、他の子どもと同じように運動することができない。

- 体育等の実技において、実施可能な課題を提供

知的障害のFさん

【状態】知的障害があり、短期的な記憶が困難。

- 話し言葉による要点を簡潔な文字にして標記することにより、記憶を補助する。



読み書きに困難がある子の場合
拡大教科書や教科書の漢字やテストの漢字にルビを打つ。タブレット、音声読み上げソフトデジタル教科書を利用して勉強できるようにするなど。

周りの刺激に敏感で集中し続けることができない子の場合
イヤーマフ、仕切りのある机を用意したり、別室でテストを受けられるようにしたりするなど。

指示の環境に困難がある場合
指示を1つずつ出すようにしたり、見通しが立つようにその日の予定をカードや表にしたりするなど、具体的にたくさんあります。

障害のある子と家族をもっと元気に

家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクト報告

～障害のある子と家族をもっと元気に～ 概要



1. 教育と福祉との連携に係る主な課題

学校と放課後等デイサービス事業所において、お互いの活動内容や課題、担当者の連絡先などが共有されていないため、円滑なコミュニケーションが図れておらず連携できていない。

2. 保護者支援に係る主な課題

乳幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの各段階で、必要となる相談窓口が分散しており、保護者は、どこに、どのような相談機関があるのかが分かりにくく、必要な支援を十分に受けられない。

今後の対応策

1. 教育と福祉との連携を推進するための方策

- ・教育委員会と福祉部局、学校と障害児通所支援事業所との関係構築の「場」の設置
- ・学校の教職員等への障害のある子供に係る福祉制度の周知
- ・学校と障害児通所支援事業所等との連携の強化
- ・個別の支援計画の活用促進

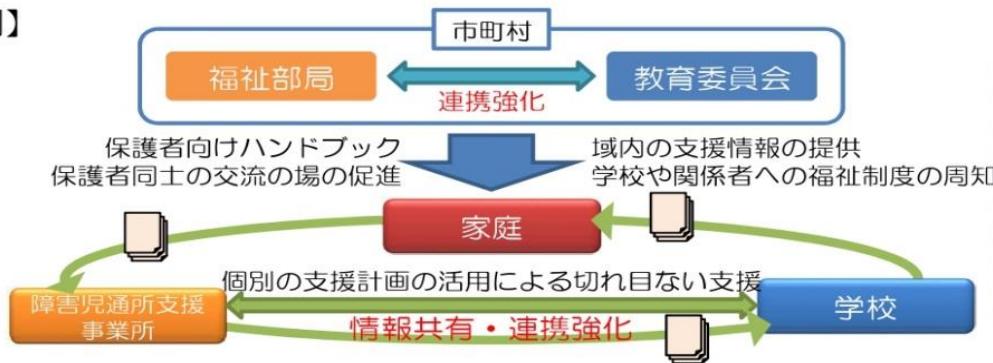
2. 保護者支援を推進するための方策

- ・保護者支援のための相談窓口の整理
- ・保護者支援のための情報提供の推進
- ・保護者同士の交流の場等の促進
- ・専門家による保護者への相談支援

【具体的な取組例】

(厚生労働省)
・放課後等デイサービスガイドラインの改定

・障害福祉サービス等報酬改定で拡充した連携加算を活用し、学校との連携を更に推進。



(文部科学省)
・個別の支援計画を活用し、切れ目ない支援体制を整備する自治体への支援

・保護者や関係機関と連携した計画の作成について省令に新たに規定

家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクト の 他市のハンドブック

*文部科学省より抜粋障がいってなんだろう？

本人には悪気がなく、むしろ一生懸命にやっているのに日常生活や友だち関係で困っている子がいます。その中には、「発達障がい」の特性を抱えている場合があります。

日常生活で・・・



友だち関係で・・・



どんな思いをしているの？

子どもは「わがまま」、「やる気がない」など『困った子』にみられる。親は周囲から「しつけや育て方の問題」と言われるなど、マイナスの評価を受けることが多く、どんどん自信がなくなっていくます。



子どもは・・・
一方的にしまわれたり注意されたりすることで、「自分はダメな子なんだ」と傷つき、だんだん自信や意欲をなくしていきます。

保護者は・・・
「自分の子育てが悪い」と責めてしまいがちです。自分の子どもが理解できない、学校など将来への不安などつらい思いでいっぱいです。



難しい問題に発展することがあります

発達障がいの原因はまだわかっていませんが、生まれながらの脳機能の障がいといわれています。保護者の育て方や本人の努力不足が原因で起こるものではありません。

発達障がいの特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

注意欠陥・多動性障害

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしていられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害

- 「読む」「書く」「計算する」などの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

自閉症
広汎性発達障害*
アスペルガー症候群

- 基本的に、言語発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたまり
- 不器用（言語発達に比べて）

図：厚生労働省発行「発達障害の理解のために」から引用

※ 今後は、「広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群など）」から「自閉スペクトラム症」という名称に変更されることもあります。

- ◆発達障がいの特徴を誰もが少しは持ち合わせているかもしれません。
- ◆発達障がいの人と発達障がいでない人の境界はあいまいです。
- ◆早い時期からの適切な支援と周囲の理解、生活環境の整備により、地域社会で過ごしやすいくなります。

どんなふうに関わればいいのか？

周りの大人がその子の特性に早く気がつき、適切な対応をしていくことで、「自分は認められている」「大切にされている」と感じながら、安心して育っていただけます。



みんなから理解され、支えられれば・・・

安心
自信
意欲
家族や他人への信頼
が生まれます。

- ♥自分のよいところに気づかせ、伸ばしましょう。
- ♥困ったときに助けを求める力を育てましょう。
- ♥「できた」という体験をたくさん積み重ね、自信をもたせましょう。
- ♥周囲の方は、子どもの一番の理解者である保護者の気持ちに寄り添いサポートしましょう。

皆さん、相談をして、たらい回しになった経験はありますか？

行政や保健センターに相談に行きましょう、と書いてあることが多く私も始めは小学校の教育相談に申し込み相談しました。

しかし、子どもの困りごとや家での問題点を延々と親である私が語り、「お母さん、色々大変でしたね。そうですか～」と深く傾聴はしてくれるのですが、何の解決策も提示してくれませんでした。

皆さん、こんな経験はないでしょうか？たらい回しをしない解決できる行政であって欲しいですね。

たらい回しになってしまっても、あきらめず行動し続ける事が大事です。ずっと頑張る続けるのはとても大変なので、休憩しながらでも継続して行動して行きましょう。子どもを守れるのは親しかいません！

実例 二次障害を克服した男児の母著

